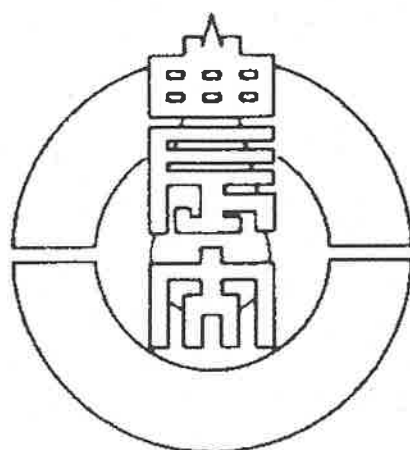


令和8年度

教育計画書



高知県立農業大学校

高知県吾川郡いの町波川234

TEL 088-892-3000

FAX 088-893-3571

1 農業大学校の沿革

昭和46年10月16日	高知県立農業大学校開校準備事務所が設置される。
昭和46年12月25日	「高知県立農業大学校の設置及び管理に関する条例」が公布される。
昭和47年 4月 1日	高知県立農業大学校が開校する。 (授業は、波川公民館を借用し開始する。)
昭和47年 7月 5日	本館、学生寮及び実習圃場が竣工。波川公民館より移転する。
昭和49年 4月 1日	農業講習所、畜産講習所、蚕業講習所、茶業伝習所、果樹伝習所が農業大学校に統合され、「高知県立農業大学校の設置及び管理に関する条例」及び「同施行規則」の一部が改正され「経営課程」、「技術課程」が設置される。研修教育期間が2か年となる。
昭和52年10月 1日	農業改良助長法の改正に伴い、「経営課程」は、協同農業普及事業の農民研修教育施設の「専門課程」となる。
昭和55年 4月 1日	校名を「高知県立実践農業大学校」に変更する。 「実践農業大学校窪川校」が新設される。 本校に「園芸学科」「技術学科」、窪川校に「農産畜産学科」が設置される。
昭和58年 4月 1日	実践農業大学校に「養成部門」と「研修部門」を設け、養成部門に「園芸学科」と「農産畜産学科」を置き、「技術学科」を廃止する。
昭和62年 8月 1日	高知県立帰全農場の廃止（平成元年3月31日）に伴い養成部門の中に「附属高等科」を新設。「園芸学科」と「農産畜産学科」は養成部門の「本科」となる。
平成 4年 8月31日	実践教育棟が竣工する。
平成 8年 3月31日	附属高等科を閉科する。
平成12年 9月19日	「実践農業大学校あり方検討会」提言
平成13年 7月6日	「高知県立実践農業大学校の設置及び管理に関する条例」及び「同施行規則」の一部改正
平成14年 1月21日	開かれた農大づくり推進委員会を設置。
平成15年 3月31日	実践農業大学校窪川校を廃止する。

- 平成15年 3月31日 畜産学科現場教室が竣工する。
- 平成15年 4月 1日 校名を「高知県立農業高等学校」に変更する。
いの町に、養成部門として「園芸学科」と「畜産学科」を置く。
四万十町に研修部門として「研修課」を置く。
- 平成15年11月28日 構造改革特別区域法の規定に基づき、「高知県農の担い手育成特区」の認定を受ける。
- 平成16年 3月31日 長期研修施設（学生会館）が竣工する。
- 平成21年12月 3日 学校教育法に規定する専修学校に位置付ける。
- 平成26年 3月31日 「高知県立農業担い手育成センター」設置に伴い「研修課」を廃止する。

2 教育目標

農業技術や経営についての実践的な研修教育を行い、地域の農業振興に貢献することができる優れた農業の担い手及び指導者の育成を目標としています。

3 教育方針

- ① 農場実習と講義を関連させた実践的学習により、農業技術や経営についての専門的スキルを養う。
- ② 作物栽培や家畜の飼養についてプロジェクト学習を通して課題解決能力を養う。
- ③ 先端技術を取り入れた実践学習により、新しい農業への対応力を高める。
- ④ 先進農家研修や国際交流を通じて経営感覚や国際感覚、ネットワーク構築力を養う。
- ⑤ 進路別選択授業により、進路に対する問題意識を持たせ、社会性を修得させる。
- ⑥ 寮生活や自治会活動を通じて、社会人としての自主性、協調性、規律を重んじる人間性を養う。

4 本校の特徴

- ① 専任スタッフによる少数精鋭の課題解決型学習を主体とした実践教育（実習50%以上）
- ② 充実した施設をを活用した、環境制御による次世代型園芸生産システム、スマート農業、グローバルGAP、バイオテクノロジーなどの先端技術の習得
- ③ 先進農家、法人への留学研修（約40日間）、市場流通研修などの体験型研修
- ④ 選択型カリキュラム（就農・進学・公務員等受験対策、機械、農産物・乳製品加工、フラワーデザイン、資格取得等）
- ⑤ 農業経営に必要な様々な免許・資格の取得

5 教育課程

園芸学科と畜産学科を設け、園芸学科には野菜、花き、果樹の各専攻を設ける。

園 芸 学 科	定 員	畜 産 学 科	定 員
野菜・花き・果樹・6次産業化などについての専門的研修教育	45人	畜産などについての専門的研修教育	5人

園芸学科

<野菜専攻>

高知県の基幹品目であるキュウリ、ナス、ピーマンなどの施設野菜の生理や栽培方法を習得させるとともに、プロジェクト活動を通じて、より実践的な学習をさせる。

また、消費者ニーズに対応した生産の必要性及び高知県が目指している環境保全型農業及び販売戦略を学ばせる。

具体的には、

- ① 播種から収穫までの栽培管理を実践する中で、高品質で安定生産ができる栽培技術を習得させる。
- ② 二酸化炭素や温湿度等の先進的な環境制御技術及び非破壊品質評価装置等の高度な機器が整備された集出荷施設を「見て、学んで、感じる」ことで、次世代に即応した農業に意欲が持てる学生を育成する。

<花き専攻>

高知県の基幹品目であるユリ、トルコギキョウ、グロリオサなどを中心に栽培技術を習得させるとともに、プロジェクト活動を通じて、より実践的な学習をさせる。また、花苗、鉢物栽培など多様な用途について学ばせる。

具体的には、

- ① 栽培面で、現場で導入可能な新品目を経験させるとともに、既存品目の収量及び品質向上を目指す生産技術を習得させる。
- ② フラワー装飾3級の全員合格を目標とし、さらに2級取得のために、花クラブを核として定期的に活動させる。また、校内での作品展示や、作品展等への参加により学習意識を高めさせる。

<果樹専攻>

高知県の特産果樹である新高梨、土佐文旦、小夏やハウス温州みかんなどの果樹の生理や栽培技術を習得させるとともに、プロジェクト活動を通じて、より実践的な学習をさせる。また、市場ニーズに対応した生産及び販売戦略を学ばせる。

具体的には、

- ① 接ぎ木から整枝・剪定、収穫までの栽培を実践する中で、高品質で安定生産ができる栽培技術を習得させる。
- ② 施設果樹での環境測定装置や、ドローン、アシストスーツ等を導入し、次世代に即応した農業の経験を積ませることで、やる気と向上心のある学生を育てる。

畜産学科

牛・豚・鶏の飼養管理技術、飼料作物の栽培、関連する機械操作、畜産の経営、畜産物の加工まで実践的な学習をさせるとともに、プロジェクト活動を通じて、就農及び雇用就農に必要なスキルを習得させ、即戦力となれる人材を育成する。

具体的には、

- ① 牛・豚・鶏・飼料作物の一連した作業を習得させる。
- ② 牛では、哺育・育成から繁殖・肥育まで、経営を安定化させる技術を習得させる。
- ③ 人工授精師等の資格を取る機会を与えると同時に、現場で即実践できる技術を習得させる。

3 教育の内容

(1) 令和8年度 教育科目及び履修時間

区分	履修科目	全体		1年		2年		履修方法
		時間	単位数	時間	単位数	時間	単位数	
教養科目	社会人基礎力	15	1	15	1			講義・演習
	情報処理	15	1			15	1	演習
	英語	15	1	15	1			講義・演習
	体育	68	2	34	1	34	1	実技
	キャリア形成演習	30	2	30	2			講義・演習
	小計	143	7	94	5	49	2	
園芸・畜産共通	農業基礎	30	2	30	2			講義
	化学基礎	15	1	15	1			講義
	物理基礎	15	1	15	1			講義
	化学概論	15	1			15	1	講義
	物理学概論	15	1			15	1	講義
	農業概論	15	1	15	1			講義・演習
	土壤肥料学	30	2	30	2			講義・演習
	スマート農業	15	1	15	1			講義・演習
	農業経営学	15	1			15	1	講義
	農業簿記	15	1	15	1			講義・演習
	農業法人	15	1			15	1	講義
	農業施策	15	1			15	1	講義
	環境保全型農業Ⅰ・Ⅱ	30	2	15	1	15	1	講義・演習
	6次産業化実習	30	1	30	1			実技・実習
	流通研修Ⅰ・Ⅱ	60	2	30	1	30	1	研修
	卒論計画	15	1	15	1			演習
	各論ゼミ	15	1			15	1	演習
	卒業論文	90	6			90	6	演習
	小計	450	27	225	13	225	14	
	専門科目	園芸管理学Ⅰ	15	1	15	1		
園芸管理学Ⅱ		15	1	15	1			講義
生物工学		15	1	15	1			講義・演習
作物概論		15	1	15	1			講義
植物生理Ⅰ		15	1	15	1			講義
植物生理Ⅱ		15	1	15	1			講義
植物病理学Ⅰ		15	1	15	1			講義
植物病理学Ⅱ		15	1	15	1			演習
I P M		15	1			15	1	講義
園芸施設		15	1			15	1	講義
園芸流通		15	1			15	1	講義・演習
園芸各論Ⅰ・Ⅱ		30	2	15	1	15	1	講義
小計		195	13	135	9	60	4	
畜産学科		畜産概論	30	2	30	2		
	家畜栄養学Ⅰ・Ⅱ※	30	2	0	0	0	0	講義
	家畜繁殖学	30	2	30	2			講義
	家畜生理解剖Ⅰ・Ⅱ※	30	2	30	2	30	2	隔年講義
	家畜衛生学	15	1			15	1	講義
	家畜育種学	15	1	15	1			講義
	家畜飼養管理学	15	1	15	1			講義
	家畜産肉性理論※	15	1	15	1	15	1	隔年講義
	畜産物流通論	15	1			15	1	講義
	畜産各論Ⅰ・Ⅱ	30	2	15	1	15	1	講義
	小計	225	15	150	10	90	6	
実習	インターンシップ研修	48	1	48	1			実習
	先進農家等留学研修	304	10			304	10	実習
	農業機械実習	66	2	66	2			実習
	専攻実習(園芸)	1,136	37	654	21	482	16	実習
	専攻実習(畜産)	1,106	36	639	21	452	15	実習
	小計(園芸)	1,554	50	768	24	786	26	
	小計(畜産)	1,524	49	753	24	756	25	
合計	園芸学科	2,342	97	1,222	51	1,120	46	専攻実習49%
	畜産学科	2,342	99	1,222	52	1,120	47	専攻実習47%

※1, 2学年同時受講の隔年開講科目

(2) 教育科目及び内容

<1学年>

区分	講義名	教育のねらい	主な内容	時間	
教養科目	社会人基礎力	社会人として身につけておくべき基本的知識を習得させる。	・ 救急法、災害・起震車訓練 ・ 年金、クレジット ・ 国際交流	15	
	英語	自分の意見を英語で発表できる実践的な英語でのコミュニケーション力を習得させる。	・ 自己紹介を英語で ・ 日常英会話 習得 ・ 日常英会話 応用	15	
	体育	各種目のルールや技術の習得、チームワークの大切さ、スポーツや身体を動かすことの楽しさを知るとともに、心身の鍛錬を行い健康の維持増進、集団の中での協調性を身につけさせる(種目: バレーボール、卓球、バドミントン)。	・ 技術・ルールの習得 ・ 心身の鍛錬 ・ 体力健康の維持増進	34	
	キャリア形成演習	卒業後の進路について自らを分析し、考察して必要なスキルを身につける。	・ 自己分析、職業理解 ・ 成功哲学、組織論 ・ 希望進路別コース授業	33	
専門科目	園芸畜産共通	農業基礎	農業系高校出身学生は、農業に関する知識技術取得の確認。その他高校出身学生は、農作業の意味が理解できるレベルの知識を習得させる。野菜・花き・果樹・畜産についての基礎知識を習得する。日本の農業及び農村の動向や農業政策についてその概要を学ぶ。	・ 私たちの暮らしと農業 ・ 農機具、資材 ・ 農業の分野と主な役割	30
		化学基礎	化学の基礎知識を身につけ、毒物劇物や危険物の学習につなげる。	・ 物質の成分、原子、電子 ・ 溶液、中和、酸化、還元 ・ 有機化学	15
		物理基礎	物理の基礎知識を身につけ、危険物の学習につなげる。	・ 熱の移動、燃焼 ・ 静電気 ・ 気体の性質、蒸気比重、蒸気圧	15
	農業概論	安全安心な農産物を安定生産するために農業に関する正しい知識を身につける。主体的に考え、判断し、病害虫防除ができる農業者を育成する。	・ 農業取締法 ・ 殺虫剤、殺菌剤、除草剤、調整剤、展着剤各論 ・ 剤の生体への安全性、環境への配慮	15	
	土壌肥料学	土壌及び作物栄養、肥料の基礎について習得する。土壌分析に必要な分析化学の基礎知識と分析操作手法、また分析結果を用いた土壌診断手法を習得する。	・ 土壌の基本的性質と機能 ・ 土づくりの目的と方法 ・ 肥料の種類と施肥方法	30	
	スマート農業	ロボット技術、ICT活用等、超省力・高品質な生産を実現するための新たな農業の基礎知識を学ぶ。また、施設園芸における環境制御技術の基礎知識を学ぶ。	・ スマート農業と事例 ・ 施設園芸における環境制御技術 ・ 県下導入事例	15	
	農業簿記	簿記の役割を理解し、簿記に必要な仕訳、減価償却費の算出の手法を身につける。複式簿記の手法を習得することにより、農業の経営的な視点を身につける。	・ 簿記の役割と概要 ・ 日常取引の帳簿作成、固定資産台帳 ・ 財務諸表について	15	
	環境保全型農業Ⅰ	環境保全型農業の意義を学び、環境汚染のリスクを適正に評価するスキルを習得する。	・ GAP概説 ・ 園場での環境リスク ・ 環境と農業	15	
	6次産業化実習Ⅰ	災害食をテーマに、校内で生産された農畜産物を活用して商品開発を行うための加工技術を習得させる。また商品開発や付加価値の付け方についても基礎知識を習得させる。	・ ストーリーブランディング論 ・ 地域資材を用いた商品開発 ・ 加工実習	30	
	流通研修Ⅰ	農畜産物の流通の実態や6次産業化の取組みについて視察研修を実施し、農畜産物の流通加工についての基礎知識を習得する。	・ 園芸流通の実態 ・ 米流通の実態 ・ 食肉、卵流通の実態	20	
	卒論計画	卒論の品目及び課題について、学生が主体的に考え、決定するまでを模擬的に体験させ、学生の自主的学習、発表能力を向上させる。	・ 卒論の課題設定と目的、調査手法について ・ 自分が取り組みたい卒論の品目と課題について ・ 予定される調査手法と、期待される成果発表	15	
	園芸学	園芸管理学Ⅰ・Ⅱ	園芸作物を周年供給するための基本的な栽培技術について理解する。	・ 栽培技術の基礎 ・ 作型と栽培技術 ・ 養液栽培の技術	30
		生物工学	バイオテクノロジーの意義を理解し、無菌は種、茎頂培養、器官培養の実習を通じてその基礎を学ぶ。	・ バイオテクノロジーの知識 ・ 培養実験の基礎技術 ・ 茎頂培養、無菌は種、器官培養、やく培養 等	15
		作物概論	食用作物(禾穀類、マメ類など)の生産と利用、生態種の分化、品種特性、生理・生態並びに栽培技術について基礎知識を習得する。	・ 作物の役割、利用方法 ・ 作物の分類、特徴、生育と環境 ・ 作物の生産と消費動向	15
		植物生理Ⅰ・Ⅱ	作物の形態と機能を、細胞、組織、器官レベルで学び、光合成と呼吸等の代謝が植物の生長に及ぼす影響及び植物にとっての水の重要性を理解する。植物がどのように「生」を維持しているかを理解し、植物の生命現象や農業生産の基礎を学ぶ。	・ 植物の形態、代謝 ・ 水、無機養分 ・ 植物生理の理解	30
植物病理学Ⅰ・Ⅱ		植物の病気を知り、病害の予防や防除の基礎知識を学ぶ。また顕微鏡操作や血清診断手法を習得し、植物病害の診断手法を身につける。	・ 作物の病気の発生と環境要因 ・ 植物の病害抵抗性 ・ 植物の病気の診断法、診断技術(顕微鏡、血清診断)	30	
園芸各論Ⅰ		県の園芸(野菜、花き、果樹)主要品目の生理生態、品種特性や基本的栽培管理技術を習得させる。	・ 野菜主要品目(トマト、ナス、キュウリ等)の栽培技術 ・ 花き主要品目(ユリ、グロリオサ等)の栽培技術 ・ 果樹主要品目(柑橘、ナシ、ブドウ等)の栽培技術	15	

区分	講義名	教育のねらい	主な内容	時間
畜産 学科	畜産概論	畜産の成り立ち、家畜飼育の基礎を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> 畜産の役割と動向 家畜の生理生態と飼育環境 飼料作物の給与形態と特徴 	30
	(家畜栄養学Ⅰ・Ⅱ) ※	家畜の栄養と飼料について理解させ、家畜飼養についての知識を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> 栄養とは 5大栄養素、消化とは何か 消化の実際 反芻動物(牛)の消化、単胃動物(豚)、鶏の消化 ビタミン、ミネラル、アミノ酸、核酸 	15
	家畜繁殖学	繁殖和牛の飼育に関する知識を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> 備ける繁殖経営、牛のしつけ 1年1産のための繁殖牛管理 人工授精技術 	30
	(家畜生理解剖Ⅰ・Ⅱ) ※	家畜の主要な器官の構造と生理機能に関する知識を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> 骨格及び筋肉の解剖と生理 消化器、呼吸器の構造と機能 泌尿生殖器等の構造と機能 	15
	家畜育種学	家畜の育種・改良について基礎的な知識を得る。	<ul style="list-style-type: none"> 家畜の繁殖技術 育種の仕組み 育種法、遺伝子組み換え 	15
	家畜飼養管理学	家畜を飼育、管理していくうえで、基本知識を学ばせるとともに、必要な畜産専門用語を理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 野生動物からの家畜化 家畜の生理・生態と飼育環境、飼料給与 養鶏(採卵・ブロイラー)、養豚、酪農、肉用牛 	15
	(家畜産肉性理論) ※	家畜の成長や肉質向上に関する生理学的な原則や技術を基盤とした理論の追求	<ul style="list-style-type: none"> 家畜の成長と発達 肉質とその影響要因 生体と枝肉の組織構成の予測と評価 	15
	畜産各論Ⅰ	各家畜にかかる概論や関連する情勢等を学ぶ。特にウシ、ブタ、ニワトリ以外の大小家畜について概論を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 養蜂について ヒツジ、ヤギについて 愛玩動物と小家畜 	30
園芸 畜産 共通	インターンシップ研修	農業法人、農業関連企業等での職場体験により進路選択の具体性、方向性を定める。	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の体験(農業生産、市場、農業機械) 仕事の体験(進路希望業種の体験) 振り返り 	64
	農業機械実習	農業及び関連産業で必要な機械(トラクター、運搬車、管理機等)の運転操作技術を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> 農業機械の安全操作、農業機械操作実習 フォークリフト技能講習 小型車両系建設機械特別講習 	66
	専攻実習(園芸学科)	プロジェクト学習を通して、作目、課題を選定し、一貫した圃場管理技術を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> 土づくり、施肥、ほ場準備 播種、育苗、定植、灌水肥培管理、製枝誘引、剪定 収穫、調整、荷造り出荷 	768
	専攻実習(畜産学科)	畜産経営に必要な各家畜の専門的な飼養管理技術、飼料作物の生産管理技術を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> 飼料作物の収穫、加工 堆肥散布、ほ場耕起 家畜の飼養管理(哺育、育成、繁殖、肥育) 	753

< 2 学年 >

区分	講義名	教育のねらい	主な内容	講義時間
教養科目	情報処理	PowerPointの使い方を習得し、実際のプレゼンテーションを作成、プレゼン実践を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション技術 ・グラフの埋め込み ・画像の取り込み 	15
	体育	各種目のルールや技術の習得、チームワークの大切さ、スポーツや身体を動かすことの楽しさを知るとともに、心身の鍛錬を行い健康の維持増進、集団の中での協調性を身につけさせる（種目：バレーボール、卓球、バドミントン）。	<ul style="list-style-type: none"> ・技術・ルールの習得 ・心身の鍛錬 ・体力健康の維持増進 	15
国芸畜産共通科目	化学概論	化学基礎以外の化学分野を網羅して概論を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の構造、周期表、化学反応式 ・イオン、金属、分子、物質質量 ・有機化学 	15
	物理学概論	物理基礎以外の化学分野を網羅して概論を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・力学と釣り合い、摩擦力、弾性、圧力、浮力 ・運動とエネルギー、エネルギー保存 ・加速度 	15
	農業経営学	農業経営における基礎的諸概念（生産要素概念、精算概念、経営概念）を理解する。雇用就職に求められる資質を習得。法人経営における作業リーダーや現場管理、労務管理等を担当できる知識を習得する。労務管理の根拠となる法令や制度に関する知識を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営とは ・構造分析表について ・実際の農業経営について ・農業法人について 	15
	農業法人	農業に関わる法律及び関連する制度を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業共済 ・労務管理 	15
	農業施策	国の農業振興のための政策事業、鳥獣害対策、地産地消の取り組み等の概要を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県の農業振興政策 ・集落営農 ・鳥獣害対策 	15
	環境保全型農業Ⅱ	環境と調和した持続可能な農業生産について、課題や経営の実際及び国の施策を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・有機農産物の生産・流通・経営 ・みどりの食料システム戦略 ・危険物、毒劇物の保管・貯蔵・漏洩リスクの管理 	15
	流通研修Ⅱ	卸売市場、農産店、直販所などの調査を通じて、農産物の流通の実態を習得させる。畜産物については生産流通加工状況を把握させるとともに、商品の特性、スイッチングコスト、ビジネスプランづくりを習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸流通の実態 ・米流通の実態 ・食肉、卵流通の実態 	16
	各論ゼミ	課題のとりまとめ、発表および相互に評価を行うことを通して、プレゼンテーション能力、科学的コミュニケーション力を養成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト課題のまとめと発表 ・他課題の理解、質問、考察 	15
	卒業論文	農業生産及び経営技術におけるプロジェクト活動の成果を取りまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状及び背景 ・問題点の抽出及び解決策の検討 ・成果のとりまとめ、発表 	90
	園芸学	園芸施設	施設園芸の構造、歴史を学びハウスの特徴や経済性、災害補償について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設園芸の歴史 ・園芸施設、冷蔵施設、加温施設 ・施設の災害対応、保障
園芸流通	販売方法について学び、顧客とのコミュニケーション力を磨く。県内農産物の生産、流通状況を概説し農産物輸出や品質管理の基礎を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・市場外流通について ・関西圏の市場流通について ・農産物輸出、流通、品質管理 	15	
園芸各論Ⅱ	県の園芸（野菜、花き、果樹）主要品目の経営や産業構造を学ぶ。併せて養蜂についても業界の全体像を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜主要品目（トマト、ナス等）の経営 ・花き主要品目（ユリ、グロリオサ等）の経営 ・果樹油症品目（柑橘、ナシ、ブドウ等）の経営 	15	
畜産学	家畜衛生学	家畜衛生の基礎、家畜伝染性疾病の発生予防、生産病対策、生産衛生などについて、総括的に習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・伝染病 ・家畜伝染病の予防法、ワクチン ・牛の病気 	15
	畜産物流通論	畜産物の流通、価格形成等についての基礎的な知識を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・流通と市場の原理 ・畜産物流通と卸売市場 ・価格形成の仕組み 	15
	畜産各論Ⅱ	農業者の牛、豚、鶏の経営や産業構造を学ぶ。また関連産業である養蜂についても産業の全体像を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・酪農、肉用牛の経営と産業 ・養豚経営と産業 ・養鶏経営と産業 ・農作業の実践技術 ・農家経営の実態把握 	30
実習	先進農家等留学研修	先進農家に派遣し、農業現場を体験することで、栽培の実践技術や経営感覚を身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめと発表 	304
	専攻実習（園芸学科）	プロジェクト学習を通して、作目、課題を選定し、一貫した園圃管理技術を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・土づくり、施肥、ほ場準備 ・播種、育苗管理、定植、灌水肥培管理、製枝誘引、剪定 ・収穫、調整、荷造り出荷 	482
	専攻実習（畜産学科）	家畜の飼養管理、モデル農家の経営調査、プロジェクト学習を実施し、就農に向けた技術を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料作物の収穫、加工 ・堆肥散布、ほ場耕起 ・家畜の飼養管理（哺育、育成、繁殖、肥育） 	452

※畜産学科の（ ）で囲んだ3科目は1、2学年同時受講科目で隔年開講とする。

令和8年度 農業大学校行事計画

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	水	開校	1	水		1	火		1	日		1	木	農大ショップ	1	火		1	金	元旦・開校	1	月	
2	木		2	木		2	水		2	月		2	金		2	水		2	土		2	火	
3	金	開校	3	金		3	木		3	火	文部の白	3	土		3	木		3	日		3	水	
4	土		4	土	農業技術検定試験	4	金		4	水		4	日		4	金		4	月	開校	4	木	
5	日		5	日		5	土		5	木		5	月		5	土		5	火	始業式	5	金	後期入試
6	月	始業式	6	月		6	金		6	水		6	火		6	金		6	水		6	土	
7	火	入校式	7	火		7	土		7	木		7	水	四国農学選スポーツ大会	7	月		7	木		7	日	
8	水		8	水		8	水		8	火		8	木		8	火		8	金		8	月	
9	木		9	木	食品衛生責任者講習会	9	木		9	日	山の白	9	金		9	水		9	土		9	火	
10	金		10	金		10	金		10	月	開校	10	土		10	木		10	日		10	水	
11	土		11	土		11	土		11	火	山の白	11	日		11	金		11	月	成人の日	11	木	農国記念日
12	日		12	日		12	日		12	水		12	月	スポーツの日	12	土		12	火		12	金	
13	月	フューチャー講習	13	月		13	月		13	木		13	火		13	金		13	水		13	土	
14	火		14	火		14	火		14	金		14	水		14	土		14	木	小型車両特別講習	14	日	
15	水		15	水		15	水		15	土	開校	15	木		15	木		15	金		15	月	
16	木		16	木		16	木		16	日		16	金		16	金		16	土		16	火	卒業式
17	金		17	金		17	金		17	月		17	土		17	土		17	日		17	水	
18	土		18	土		18	土		18	火		18	日		18	日		18	月		18	木	
19	日		19	日		19	日		19	水		19	月		19	月		19	火		19	金	修了式
20	月		20	月		20	月		20	木		20	火		20	火		20	水		20	土	
21	火		21	火	卒業式	21	火		21	金		21	水		21	水		21	木		21	日	春分の日
22	水		22	水		22	水		22	土		22	木		22	木		22	金		22	月	振替休日
23	木		23	木		23	木		23	日		23	金		23	金		23	土		23	火	天皇誕生日
24	金		24	金	卒業式	24	金		24	月	始業式	24	土		24	土		24	日		24	水	
25	土		25	土		25	土		25	火		25	日		25	日		25	月		25	木	農大ショップ
26	日		26	日		26	日		26	水		26	月		26	月		26	火		26	金	
27	月		27	月		27	月		27	木		27	火		27	火		27	水		27	土	
28	火		28	火		28	火		28	金		28	水		28	水		28	木		28	日	
29	水	昭和の日	29	水		29	水		29	土		29	木		29	木		29	金		29	月	開校
30	木		30	木		30	木		30	日	日曜日	30	金	農大祭準備	30	金		30	土		30	火	
31	金		31	金		31	金		31	月		31	土	農大祭	31	土		31	日		31	水	

7 令和7年度入校生のプロジェクト課題

学科・ 専攻別	No.	課 題 名
野菜	D14	大玉トマトの養液栽培における摘葉方法の検討
	D15	大玉トマトの養液栽培における栽植方法の検討
	D17	促成大玉トマトの養液栽培における品種比較
	D23	大玉トマトの養液栽培におけるオランダ品種と日本品種の比較
	D25	促成キュウリの品種比較
	D26	促成キュウリおよび後作オクラの品種比較
	D4	促成ナスの栽植密度の違いによる収量、品質の比較
	D8	ニラの促成栽培における品種比較
	D10	イチゴの高設栽培における品種比較
	D22	ニラの促成栽培における品種の比較検討
	D28	促成イチゴの高設栽培における品種比較
	D6	促成ピーマンの病害虫抵抗性品種の比較
	D11	促成ピーマンのウイルス病抵抗性品種の比較
	D20	促成キュウリの黄化えそ病耐病性品種の比較
	D21	促成キュウリの品種比較
花き	D7	アルストロメリアにおける耐暑性品種の検討
	D24	ルメックス‘ユニコーン’における生育・開花調節技術の把握
果樹	D1	‘土佐文旦’の種なし果実の作成と加工適性の評価
	D2	ユズの摘果の時期および量が隔年結果防止に及ぼす影響
	D5	ブドウの樹全体の着房および着粒制限が大粒化に及ぼす影響
	D9	中晩柑の時期別果実品質と収穫適期の把握
	D13	ユズの冬季ジベレリン処理および刈り込みせん定による花芽抑制が隔年結果防止に及ぼす影響
	D19	日積算温度によるナシの収穫適期の推定
	D27	ナシ果実への遮光がミツ症の軽減に及ぼす影響
畜産	D101	早期母子分離型人工哺育育成による和子牛の発育調査について
	D102	スマート畜産技術を活用した新しい豚飼養管理への取り組みについて

8 農業実習計画 (1) 園芸学科

1) 野菜専攻

了、実習体系

学年 月	第1学年						第2学年					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実習	栽培の基礎											
	プロジェクト活動 調査、データ収集、集計、分析											
	専攻班決定			卒業論文の課題設定			流通研修			職場体験派遣		
	農業体験研修			卒業論文の課題設定			流通研修			職場体験派遣		
	卒業論文審査			卒業論文発表			流通研修			職場体験派遣		
	卒業論文発表			卒業論文発表			流通研修			職場体験派遣		
	卒業論文発表			卒業論文発表			流通研修			職場体験派遣		

イ、作型

品目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ピーマン												
ニラ			x									
トマト												
キュウリ												
イチゴ												
ナス												

□:収穫 x:播種 ○:接木 △:定植

ウ、実習内容

	栽培の基礎	職場体験派遣研修	プロジェクト活動	先進農家等留学研修	卒業論文
ねらい	基礎知識・技術の習得	職業意識の育成及び農業に関する仕事への関心及び理解を深める	1作の栽培管理を通して、1~2品目の野菜の知識、技術の探求	先進農家等の経営、技術の習得	技術・経営の把握とプレゼンテーション能力の習得
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢土づくり ・施設栽培の管理技術 ・露地栽培の管理技術 ・各種農具(鍬、鎌、鋏など)、機器類の使用方法 ・GAPの習得と実践 ・環境制御およびIoTの基礎 ・野菜の生理・生態の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産法人及び農業関連企業における職業体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培計画の作成 ・育苗、本ば管理 ・収穫、調整、出荷 ・記録(実習日誌、生育・収量調査) ・経営評価(収支、労働力) ・施設栽培品目> ピーマン、ニラ、トマト、キュウリ、イチゴ、ナス等 試験課題テーマ> 品種、栽培密度、仕立て方法、肥料、培土、かん水量、天敵、病害虫抵抗性、育苗日数、根域制限、有機質資材、炭酸ガス施用、作業性および経営試算等 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培技術、体系 経営理念 産地形成 生産、出荷組織 農村社会生活 	<ul style="list-style-type: none"> 課題設定 作業、試験や調査計画の策定 産地等現場の状況把握 データの集計、分析、評価 参考文献との比較検討 論文の作成 発表技術の向上

エ、管理表

ほ場・施設・作目		ねらい	学習課題	面積	
施設	野菜 1号	高設イチゴ	イチゴの促成栽培における基本栽培技術を学習する。	(1)高設栽培管理技術の習得 (2)病害虫管理方法の習得 (3)収穫、調製技術の習得	284.6㎡
	野菜 2号	鉢苗	培養苗の順化、管理技術を習得する。	(1)順化技術の習得 (2)順化株からの採種方法の習得	118.8㎡
	野菜 3号	果菜類ポット苗	果菜類の育苗における基本管理技術を学習する。	(1)接ぎ木技術の習得 (2)均質で健全な育苗方法の習得	291.6㎡
	野菜 4号				291.6㎡
	野菜 5号	天敵温存	土着天敵の温存方法を学習する。	(1)温存植物の栽培方法の習得 (2)病害虫管理方法の習得	202.5㎡
	野菜 6号	大玉トマト	トマトの統合環境制御下での養液促成栽培における基本栽培技術を学習する。	(1)整枝、摘葉技術の習得 (2)生理障害果対策方法の習得 (3)環境制御技術の習得 (4)養液栽培管理技術の習得	240.0㎡
	野菜 7号	ピーマン	ピーマンの促成栽培における基本栽培技術を学習する。	(1)施設栽培管理技術の習得 (2)収穫、調製技術の習得 (3)病害虫管理方法の習得	480.0㎡
	野菜 8号	ナス	ナスの促成栽培における基本栽培技術を学習する。	(1)施設栽培管理技術の習得 (2)収穫、調製技術の習得 (3)病害虫管理方法の習得	180.0㎡
	野菜 9号	ナス	ナスの促成栽培における基本栽培技術を学習する。	(1)施設栽培管理技術の習得 (2)収穫、調製技術の習得 (3)病害虫管理方法の習得	180.0㎡
	野菜 10号	ニラ	ニラの促成栽培における基本栽培技術を学習する。	(1)施設栽培管理技術の習得 (2)収穫、調製技術の習得 (3)病害虫管理方法の習得	180.0㎡
	野菜 11号	ニラ	ニラの促成栽培における基本栽培技術を学習する。	(1)施設栽培管理技術の習得 (2)収穫、調製技術の習得 (3)病害虫管理方法の習得	180.0㎡
	野菜 12号	大玉トマト	トマトの養液促成栽培における基本栽培技術を学習する。	(1)整枝、摘葉技術の習得 (2)生理障害果対策方法の習得 (3)環境制御技術の習得 (4)養液栽培管理技術の習得	360.0㎡
	野菜 13号				180.0㎡
	野菜 14号	キュウリ オクラ	キュウリの促成栽培、後作オクラにおける基本栽培技術を学習する。	(1)施設栽培管理技術の習得 (2)収穫、調製技術の習得 (3)病害虫管理方法の習得 (4)環境制御技術の習得	480.0㎡
	野菜 15号				540.0㎡
野菜 16号	キュウリ	キュウリの促成栽培における基本栽培技術を学習する。	(1)施設栽培管理技術の習得 (2)収穫、調製技術の習得 (3)病害虫管理方法の習得 (4)環境制御技術の習得	540.0㎡	
露地	露地3号	サツマイモ等の露地栽培における基本栽培技術を学習する。	(1)施肥技術の習得 (2)植付け方法の習得 (3)収穫、調製技術の習得	322.0㎡	

2)花き専攻

ア、実習体系

第1学年				第2学年									
学年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実習	栽培の基礎	専攻班決定	農業体験研修	卒業論文の課題設定	フラワー装飾	流通研修	プロジェクト活動	調査・データ収集・集計・分析	卒業論文作成	卒業論文発表	卒業論文審査	卒業論文発表	
		卒業論文発表	卒業論文審査	卒業論文発表	卒業論文発表	卒業論文発表	卒業論文発表	卒業論文発表	卒業論文発表	卒業論文発表	卒業論文発表	卒業論文発表	卒業論文発表

イ、作型

品目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ユリ類		△							△			
アルストロメリア										△		
グロリオサ											△	

□：収穫 △：定植 ×：播種

ウ、実習内容

	栽培の基礎	フラワー装飾	職場体験派遣研修	プロジェクト活動	先進農家等留学研修	卒業論文
ねらい	基礎知識・技術の習得	花の利活用技術の習得	職業意識の育成及び農業に関する仕事への関心及び理解を深める	1作の栽培管理を通して、1～2品目の花きの知識、技術の探求	先進農家等の経営、技術の習得	技術・経営の把握とプレゼンテーション能力の習得
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・土づくり・鉢土づくり ・施設栽培の基礎 ・露地栽培の基礎 ・各種農具の使い方 ・収穫・出荷調整技術 ・鮮度保持技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワー装飾2級、3級の取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産法人及び農業関連企業における職業体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培管理技術の習得 ・育苗・本圃管理 ・収穫・調整・出荷技術の習得 ・記録(実習日誌、生育・収量調査) ・経営評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術・体系 ・経営理念 ・産地形成 ・生産・出荷組織 ・農村社会生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・データの集計・分析・評価 ・参考文献の比較検討 ・論文の作成 ・発表技術の向上

エ、管理表

ほ場・施設・作目			ねらい	学習課題	面積		
花き1号	ハウス	花苗(マリーゴールド、ビンカ、パンジー等)	切り花、花壇苗、鉢物類の育苗技術を学習する。 花き類の栄養繁殖技術を学習する。	(1)セル成型育苗技術の習得 (2)花壇苗、鉢物類の施肥管理技術の習得 (3)鉢物類の仕立て方の習得 (4)挿し芽、挿し木技術の習得 (5)ミスト管理技術の習得	256 m ²		
花き2号	ハウス	鉢花類、切り花(ランキュラス等)、挿し木育苗(ダリア等)			270 m ²		
花き3号	ハウス	スプレーストック等	高知県の主要切り花の基本的な管理技術について学習する。 切り花の環境制御技術を学習する	(1)定植前のほ場準備技術の習得 (2)定植、摘芽、摘花、整枝技術の習得 (3)収穫、調製、出荷技術の習得 (4)炭酸ガス施用装置及び環境モニターを活用した施設管理技術の習得 (5)ヒートポンプを活用した温度管理の習得 (6)病虫害防除技術の習得	206 m ²		
花き4号	ハウス	ダリア等			191 m ²		
花き5号	ハウス	ユリ、グロリオサ、等			191 m ²		
花き6号	ハウス	スターチス類、グロリオサ、トルコギキョウ等			310 m ²		
花き7号	ハウス	切り花用草花等			195 m ²		
花き8号	ハウス	アルストロメリア、切り花用草花等			195 m ²		
花き冷房ハウス	ハウス	パンジー、トルコギキョウ等(育苗)			高温期の冷房育苗技術を学習する。	(1)冷房育苗管理技術の習得	28 m ²
雨よけハウス	ハウス	プランター(パンジー等)			花壇苗の栽培管理技術を学習する。	(1)プランターの冬期灌水及び施肥管理技術の習得	44 m ²
露地1	露地	ビバーナム、枝栗、ソケイ等	花木類等枝物の栽培技術を学習する。	(1)整枝技術の習得 (2)栽培管理技術の習得	100 m ²		
露地2	露地	ベニアオイ、ユウカリ、ヒペリカム等			470 m ²		

3) 果樹専攻

ア、実習体系

学年	第1学年						第2学年					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実習	プロジェクト活動 データ収集・集計・分析											
	専攻班決定			農業体験派遣			卒業論文の課題設定			流通研修		
	卒業論文発表			卒業論文審査			卒業論文発表			卒業論文発表		
	卒業論文発表			卒業論文審査			卒業論文発表			卒業論文発表		
	卒業論文発表			卒業論文審査			卒業論文発表			卒業論文発表		

イ、作業

品目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地カンキツ	せん定											
ハウスミカン	せん定											
ハウス中晩柑	せん定											
ナン	せん定											
ブドウ	せん定											

ウ、実習内容

ねらい	専攻班決定	栽培の基礎	職場体験派遣研修	プロジェクト活動	先進農家留学研修	卒業論文
果樹専攻の概況把握及び関心を高める	基礎知識・技術の習得	基礎知識・技術の習得	職業意識の育成及び農業に関する仕事への関心及び理解を深める	1作の栽培管理を通して、1～2品目の果樹の知識、技術の探求	先進農家等の経営、技術の習得	技術・経営の把握とプレゼンテーション能力の習得
果樹ほ場の見学及び実習体験	ほ場管理技術の習得(除草・定植・機械操作等) 新梢・結果管理技術の習得(摘心・誘引・摘果等) 根域制限、病害虫管理技術(ポツクス栽培・天敵利用等) 施設栽培管理技術の習得(温度・灌水等) 整枝せん定、接木技術の習得	果樹ほ場の見学及び実習体験 新梢・結果管理技術の習得(摘心・誘引・摘果等) 根域制限、病害虫管理技術(ポツクス栽培・天敵利用等) 施設栽培管理技術の習得(温度・灌水等) 整枝せん定、接木技術の習得	農業生産法人及び農業関連企業における職業体験	果実品質向上技術の習得 生育診断に基づく栽培管理技術の習得 収穫、出荷調整技術の習得 記録(実習日誌、生育調査、生態調査、果実分析) 経営評価(収支、労力)	栽培技術・体系 経営理念 産地形成 生産・出荷組織 農村社会生活	課題設定 作業、試験・調査計画の策定 試験、調査の実施 産地等現場の状況把握 調査結果の分析・評価 参考文献との比較、考察 卒業論文の作成 発表技術の向上
内容	落葉露地:ブドウ、ナシ、カキ、ブルーベリー、その他 常緑露地:温州みかん、土佐文旦、ユズ、その他 常緑加温:温州みかん 常緑少加温:日向夏、不知火、せとか、津之輝、黄金柑、その他	落葉露地:ブドウ、ナシ、カキ、ブルーベリー、その他 常緑露地:温州みかん、土佐文旦、ユズ、その他 常緑加温:温州みかん 常緑少加温:日向夏、不知火、せとか、津之輝、黄金柑、その他	職業意識の育成及び農業に関する仕事への関心及び理解を深める	1作の栽培管理を通して、1～2品目の果樹の知識、技術の探求	先進農家等の経営、技術の習得	技術・経営の把握とプレゼンテーション能力の習得

エ、管理表

ほ場・施設・作目(品種)		ねらい	学習課題	面積	
ハウス	果樹施設1号	温州みかん(興津早生)	ハウスミカンの基本的な栽培技術と高品質果実生産技術を学習する	雨よけ栽培温度・水管理技術、病害虫の防除技術、適正着果技術、収穫選別出荷調製技術、整枝せん定技術の習得	240㎡
	果樹施設2号	中晩柑(津之輝、不知火、せとか、寧波金柑、黄金柑、宿毛小夏、日向夏、西内小夏)	有望中晩柑の基本的な栽培技術と高品質果実生産技術を学習する	品種特性、温度・水管理技術、病害虫の防除技術、適正着果技術、収穫選別出荷調製技術、成木の整枝せん定技術の習得	228㎡
	果樹施設3号	中晩柑(せとか、黄金柑)	有望中晩柑の基本的な栽培技術と高品質果実生産技術を学習する	温度・水管理技術、病害虫の防除技術、適正着果技術、収穫選別出荷調製技術、若木の整枝せん定技術の習得	196㎡
	果樹施設4号、果樹施設5号	ブルーベリー	ブルーベリーの基本的な栽培技術と安定生産技術を学習する	品種特性、病害虫の防除技術、水管理技術、収穫選別出荷調製技術、整枝せん定技術の習得	65㎡、28㎡
露地	果樹露地1号	温州みかん(ゆら早生、田口早生、興津早生、石地、青島) ユズ	温州みかんとユズの基本的な栽培技術と安定生産技術を学習する	品種特性、病害虫の防除技術、適正着果技術、シートマルチ被覆栽培技術、収穫選別出荷調製技術、整枝・せん定技術の習得	528㎡
	果樹露地2号	カキ(次郎、富有、太秋、川端)	カキの基本的な栽培技術と安定生産技術を学習する	品種特性、病害虫の防除技術、適正着果技術、収穫選別出荷調製技術、整枝・せん定技術の習得	108㎡
	果樹露地3号	土佐文旦 ユズ(県選抜系統)	土佐文旦とユズの基本的な栽培技術と高品質果実安定生産技術を学習する	品種特性、病害虫の防除技術、人工受粉技術、適正着果技術、日焼け防止技術、収穫選別出荷調製技術、整枝・せん定技術の習得	128㎡
	果樹露地4号	ナシ(凜夏、豊水、あきづき、龍水、新高、他)	ナシの基本的な栽培技術と高品質果実安定生産技術を学習する	品種特性、病害虫の防除技術、人工受粉技術、適正着果技術、袋掛け技術、収穫選別出荷調製技術、整枝・せん定技術の習得	1,896㎡、168㎡(受粉樹)
	果樹露地5号	ブドウ(藤稔、ピオーネ、シャインマスカット、ベリーA、他)	ブドウの基本的な栽培技術と高品質果実安定生産技術を学習する	品種特性、病害虫の防除技術、無核化技術、適正着果技術、房づくり技術、着色向上技術、収穫選別出荷調製技術、整枝・せん定技術の習得	1,200㎡

(4)畜産学科

ア、実習体系

学 年	第 1 学 年						第 2 学 年					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実 習	畜産の基礎体験						家畜飼育の基礎					
	畜産全ての作業内容把握 畜産試験場各課題ローテーションによる家畜の飼養管理・飼料作物栽培管理、畜産作業の体験						プロジェクト活動 調査、データ収集、集計、分析					
	農業体験研修						卒業論文作成					
	卒業論文の課題設定						卒業論文審査					
	流通研修						流通研修					
	職場体験派遣						先進農家等留学研修					
	卒業論文発表						卒業論文発表					

イ、実習内容

	畜産の基礎体験	畜産の基礎	職場体験派遣研修	プロジェクト活動	先進農家等留学研修	卒業論文
ねらい	畜産全ての作業内容把握	畜産全ての知識・技術習得	職業意識の育成及び農業に関する仕事への関心及び理解を深める	飼育又は栽培管理を通じた畜産の知識、技術の習得	先進農家等の経営、技術の習得	技術・経営の把握とプレゼンテーション能力の習得
内容	畜産試験場各課題ローテーションによる家畜の飼養管理・飼料作物栽培管理、畜産作業の体験	家畜飼養管理、飼料作物栽培と利用、家畜の健康診断、発情鑑定、生殖器解剖、家畜の体格測定と審査、去勢、除角、削除、草地造成と管理、電気牧柵の利用、堆肥の生産と利用、畜産環境、畜産機械の操作、畜産加工	農業生産法人及び農業関連企業に就ける職業体験	飼育又は栽培管理を通じた畜産の知識、技術の習得 飼育又は飼料作物栽培計画の作成 家畜飼育又は飼料作物栽培場所の準備 飼育又は栽培、調製、出荷 記録(実習日誌、発育、生産性調査) 経営評価(収支、労働力) <飼育畜種等> 乳用牛、肉用牛、豚、鶏、飼料作物、堆肥、畜産環境、畜産加工等	先進農家等の経営、技術の習得 飼育管理技術 経営理念 産地形成 生産・出荷組織 農村社会生活	課題設定 作業、試験、調査計画の策定 産地等現場の状況把握 データの集計・分析・評価 参考文献との比較検討 論文の作成 発表技術の向上

ウ、工場・施設

実習内容	施設名
家畜管理	畜産試験場 各畜舎(牛・豚・鶏)
飼料作物	畜産試験場 ばら場
畜産加工	佐川分室 畜産加工室

工、管理表

項目	ねらい	学習課題
肉用牛 乳用牛	肉用牛の飼養管理の基本的、応用的な知識を学習し、また、技術を習得することで、飼養管理全般を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・牛舎の清掃、各種用具の消毒等の衛生管理の知識、技術の習得 ・餌の給与、体尺測定、家畜審査等の知識、技術を習得し、個体及び群管理ができるようにする ・発情、人工授精等繁殖学関係の知識と技術の向上 ・人工ほ乳、体尺測定等子牛の管理の知識、技術の習得
豚	豚の飼養管理の基本的、応用的な知識を学習し、また、技術を習得することで、飼養管理全般を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・豚舎の清掃、各種用具の消毒等の衛生管理の知識、技術の習得 ・餌の給与、ワクチン投与、体重測定、家畜審査等の知識、技術を習得し、個体及び群管理ができるようにする ・発情、人工授精等繁殖学関係の知識と技術の向上 ・子豚の去勢、温度、湿度管理、ワクチン投与等個体及び群管理の知識、技術の習得 肉豚の管理の知識、技術の習得
鶏	鶏の飼養管理の基本的、応用的な知識を学習し、また、技術を習得することで、飼養管理全般を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏舎の清掃、各種用具の消毒等の衛生管理の知識、技術の習得 ・餌の給与、ワクチン投与、体重測定等の知識、技術を習得し、個体及び群管理ができるようにする ・孵卵、人工授精等繁殖学関係についての知識と技術の向上 ・入雛、餌付け、温度、湿度管理等雛の管理全般の知識、技術の習得
飼料作物	飼料作物の栽培知識、技術の習得	区取り、播種、施肥、収穫等の実施による飼料作物の知識、技術の習得

9 各種研修の内容

研修名	内 容	時期・期間
先進農家等留学研修	先進的農業経営をしている農家等での農業研修	2年次・約40日間
インターンシップ研修	農業法人、農業関連企業、農家等で実施する職場体験研修	1年次・4日間×2回
流通研修	農畜産物の流通に関わる市場や量販店での体験研修	1・2年次・各2日間
オランダ農業研修	海外農業の実態調査研修（園芸学科 希望者）	2年次・1週間程度

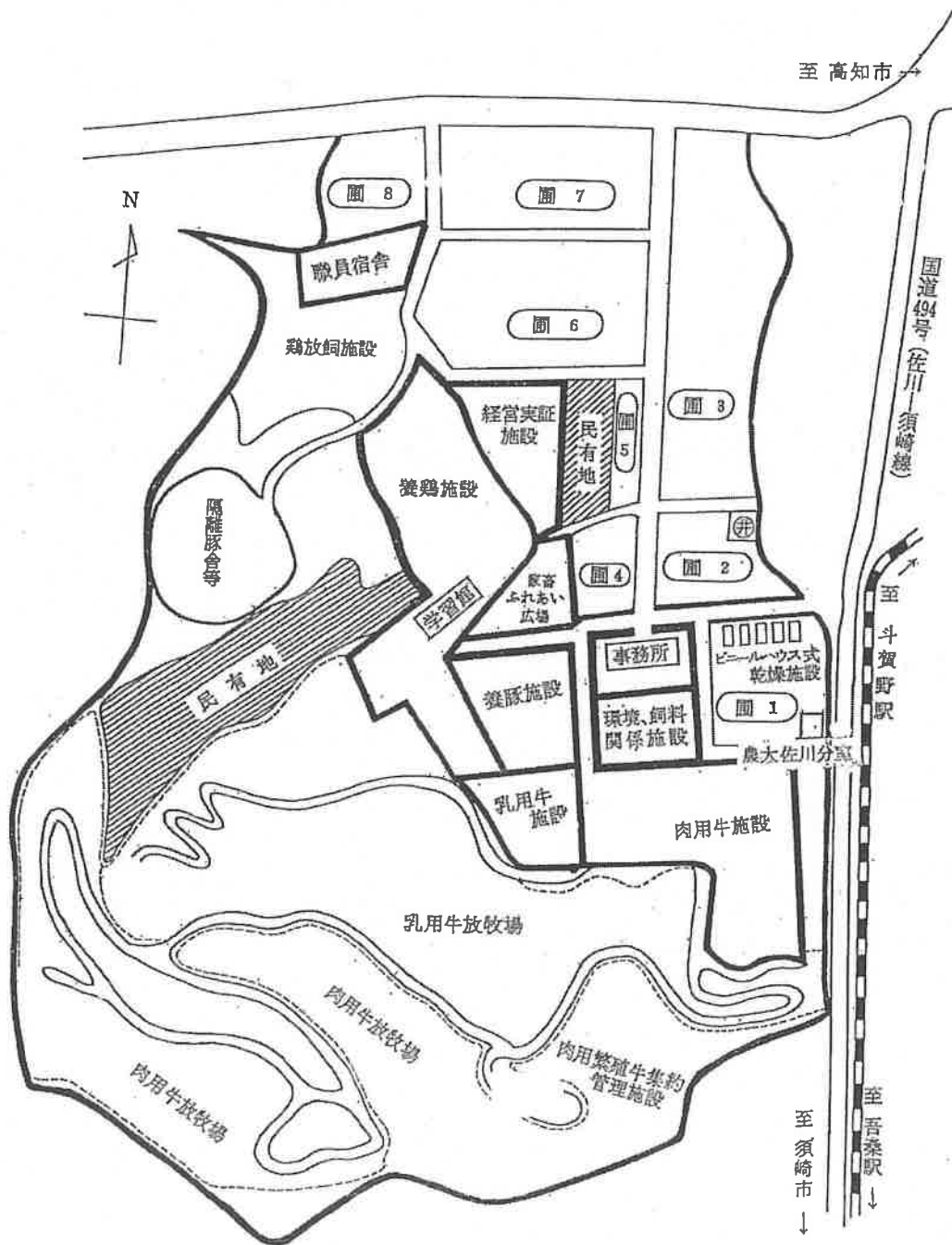
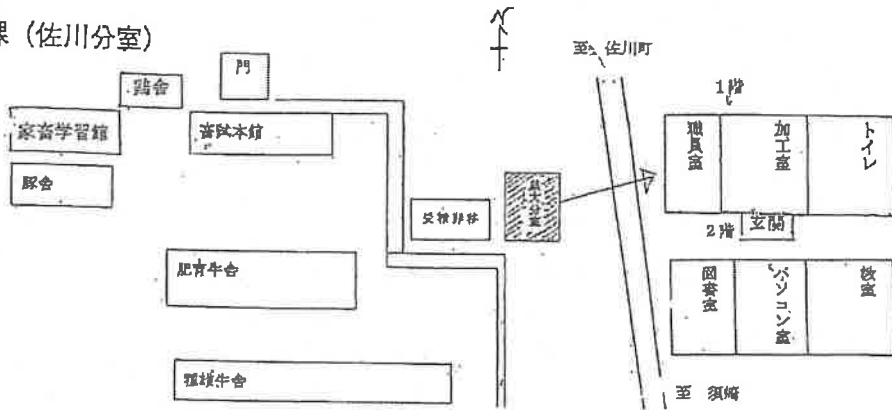
10 各種資格の取得

下記のような各種資格、検定試験の実施・支援

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| ・フォークリフト運転技能講習 | ・毒物劇物取扱者資格（一般、農業用） |
| ・小型車両系建設機械特別教育（3 t未満） | ・乙種危険物取扱者資格 |
| ・大型特殊免許（農耕車限定） | ・土壤医検定（3級） |
| ・二等無人航空機操縦士 | ・食品衛生責任者 |
| ・日本農業技術検定（2級、3級） | ・狩猟免許（猟銃、わな猟） |
| ・フラワー装飾（2級、3級） | ・家畜人工授精師免許〔畜産学科のみ、受精卵移植可〕 |

(2) 佐川分室

教育課 (佐川分室)



5月	園芸学科												畜産学科												行事予定
	1年						2年						1年						2年						
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
1	金				※オフィス					農業経営学 川池・第2					※オフィス						農業経営学 川池・第2				
2	土																								
3	日																							憲法記念日	
4	月																							みどりの日	
5	火																							こどもの日	
6	水																							振替休日	
7	木			園芸各論Ⅰ 吉本・多目的						農業経営学 川池・第2					畜産各論Ⅰ 吉本・多目的						農業経営学 川池・第2				
8	金			※オフィス											※オフィス										
9	土																								
10	日																								
11	月			園芸管理学Ⅰ 第1						農業経営学 川池・第2					畜産繁殖学 松川・第3						農業経営学 川池・第2				
12	火	※職業体験研修期間								情報処理 高知717-17・PC室		※職業体験研修期間										情報処理 高知717-17・PC室			
13	水	※職業体験研修期間				体育				体育		※職業体験研修期間				体育						体育			
14	木	※職業体験研修期間								園芸各論Ⅱ 吉本・第2		※職業体験研修期間										畜産各論Ⅱ 吉本・第2			
15	金			園芸管理学Ⅰ 第1											家畜産種学 枝重・第3										
16	土																								
17	日																								
18	月			園芸管理学Ⅰ 第1						※農業簿記Ⅱ					畜産繁殖学 松川・第3						※農業簿記Ⅱ				
19	火			農業基礎 下川・第1						農業経営学 川池・第2					農業基礎 下川・第1						農業経営学 川池・第2				
20	水			農業 体育						体育		家畜産肉性理論 西川・佐川	各論 第3	体育	家畜産肉性理論 西川・佐川						体育				
21	木	※農産物加工		農業基礎 農政局・多目的			※農産物加工			農業経営学 川池・第2		※農産物加工		農業基礎 農政局・多目的			※農産物加工				農業経営学 川池・第2				
22	金			園芸管理学Ⅰ 第1						情報処理 高知717-17・PC室					家畜産種学 枝重・第3						情報処理 高知717-17・PC室				
23	土																								
24	日																								
25	月			園芸管理学Ⅰ 第1						※農業簿記Ⅱ					畜産繁殖学 松川・第3						※農業簿記Ⅱ				
26	火	※乳製品加工		※フラワー			※乳製品加工			※フラワー		※乳製品加工		※フラワー			※乳製品加工								
27	水			農業 体育						体育				各論 第3	体育						体育				
28	木			農業基礎 下川・第1						園芸流通 品質管理・第2					家畜産肉性理論 西川・佐川						農業基礎 下川・第1		家畜産肉性理論 西川・佐川		
29	金			○ルーラル説明											○ルーラル説明										
30	土																								
31	日																								

9月	園芸学科												畜産学科												行事予定			
	1年						2年						1年						2年									
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6				
1	火										環境保全型農業Ⅱ 北岡・多目					畜産概論 西川・佐川											環境保全型農業Ⅱ 北岡・多目	
2	水			農業	体育						体育				畜産概論 西川・佐川		体育										体育	
3	木										IPM 広瀬・第2																畜産各論Ⅱ 耕崎・第3	
4	金			環境保全型農業Ⅰ 大下・第1							※進学対策						環境保全型農業Ⅰ 大下・第1										※進学対策	
5	土																											
6	日																											
7	月										※英語Ⅱ																※英語Ⅱ	
8	火			※フラワー							※フラワー																	
9	水			体育							体育						体育										体育	
10	木			植物病理学Ⅰ 木場・第1							IPM 下元・第2																畜産各論Ⅱ 耕崎・第3	
11	金										環境保全型農業Ⅱ 田村・第2																環境保全型農業Ⅱ 田村・第2	
12	土																											
13	日																											
14	月										農業法人 農業会議・第2																農業法人 農業会議・第2	
15	火	※農産物加工					※農産物加工								※農産物加工							※農産物加工						
16	水			体育							体育				家畜産肉性理論 西川・佐川		体育				家畜産肉性理論 西川・佐川					体育		
17	木			植物病理学Ⅰ 木場・第1							IPM 広瀬・第2																畜産各論Ⅱ 耕崎・第3	
18	金																											
19	土																											
20	日																											
21	月																											敬老の日
22	火																											国民の休日
23	水																											秋分の日
24	木																										畜産各論Ⅱ 耕崎・第3	
25	金	環境保全型農業Ⅰ 在宅・校外学習					農業施策・農業法人 在宅・校外学習						環境保全型農業Ⅰ 在宅・校外学習					農業施策・農業法人 在宅・校外学習					推薦入試					
26	土																											
27	日																											
28	月			6次産業化実習 臼井・第1							農業法人 浜田・第2						6次産業化実習 臼井・第1									農業法人 浜田・第2		
29	火	※乳製品加工					※乳製品加工								※乳製品加工						※乳製品加工							
30	水			体育							体育						体育									体育		

10月	園芸学科												畜産学科												行事 予定			
	1年						2年						1年						2年									
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6				
1	木				6次産業化実習 臼井・第1					農業法人 浜田・第2									6次産業化実習 臼井・第1					農業法人 浜田・第2				
2	金				植物病理学Ⅰ 木場・第1																							
3	土																											
4	日																								オープンキャンパス			
5	月				植物生理Ⅰ 濱田・第1																							
6	火				※フラワー					※フラワー																		
7	水	農学連スポーツ大会						農学連スポーツ大会						農学連スポーツ大会						農学連スポーツ大会								
8	木				6次産業化実習 臼井・第1					農業法人 浜田・第2									6次産業化実習 臼井・第1					農業法人 浜田・第2				
9	金									農業施策 市町村・第2									家畜栄養学Ⅰ 西川・第3					農業施策 市町村・第2				
10	土																											
11	日																											
12	月																								スポーツの日			
13	火				植物病理学Ⅰ 木場・第1					農業施策 池川・第2													農業施策 池川・第2					
14	水				キャリア形成演習 有光・第1													キャリア形成演習 有光・第1										
15	木									受入式													受入式					
16	金				6次産業化実習 臼井・第1	先進農家等留学研修 1										6次産業化実習 臼井・第1	先進農家等留学研修 1											
17	土					先進農家等留学研修 2											先進農家等留学研修 2											
18	日																											
19	月				植物生理Ⅰ 濱田・第1	先進農家等留学研修 3											先進農家等留学研修 3											
20	火	※乳製品加工			植物病理学Ⅰ 木場・第1	先進農家等留学研修 4										※乳製品加工	家畜栄養学Ⅰ 西川・第3	先進農家等留学研修 4										
21	水					先進農家等留学研修 5											家畜栄養学Ⅰ 西川・第3	先進農家等留学研修 5										
22	木				スマート農業 廣瀬・第1	先進農家等留学研修 6											スマート農業 廣瀬・第1	先進農家等留学研修 6										
23	金					先進農家等留学研修 7												先進農家等留学研修 7										
24	土					先進農家等留学研修 8												先進農家等留学研修 8										
25	日																											
26	月				植物生理Ⅰ 濱田・第1	先進農家等留学研修 9												先進農家等留学研修 9										
27	火					先進農家等留学研修 10											家畜栄養学Ⅰ 西川・第3	先進農家等留学研修 10										
28	水				キャリア形成演習 有光・第1	先進農家等留学研修 11											キャリア形成演習 有光・第1	先進農家等留学研修 11										
29	木				6次産業化実習 臼井・第1	先進農家等留学研修 12											6次産業化実習 臼井・第1	先進農家等留学研修 12										
30	金	農大祭準備					農大祭準備										農大祭準備					農大祭準備						
31	土	農大祭						農大祭						農大祭						農大祭								

12月	園芸学科												畜産学科												行事 予定
	1年						2年						1年						2年						
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
1	火				物理基礎 岡林・第1									物理基礎 岡林・第1											
2	水				キャリア形成演習 有光・第1									キャリア形成演習 有光・第1											
3	木				植物生理Ⅱ 伊藤・第1	先進農家等留学研修報告会										先進農家等留学研修報告会									
4	金																								
5	土																								
6	日																								
7	月				農業簿記 縄・第1									農業簿記 縄・第1											
8	火				物理基礎 岡林・第1									物理基礎 岡林・第1											
9	水																								
10	木																								
11	金																								
12	土																								
13	日																								
14	月				農業簿記 縄・第1									農業簿記 縄・第1											
15	火	※乳製品加工			物理基礎 岡林・第1	※乳製品加工				※乳製品加工				物理基礎 岡林・第1	※乳製品加工				※乳製品加工						
16	水																								
17	木				植物生理Ⅱ 伊藤・第1																				
18	金				スマート農業 岡林・第1									スマート農業 岡林・第1											
19	土																								
20	日																								
21	月				農業簿記 縄・第1									農業簿記 縄・第1											
22	火				プロジェクト審査会										プロジェクト審査会										
23	水																								
24	木				植物生理Ⅱ 伊藤・第1																				
25	金				●終業式					●終業式				●終業式					●終業式						
26	土																								
27	日																								
28	月																								
29	火																								
30	水																								
31	木																								

1月	園芸学科												畜産学科												行事予定
	1年						2年						1年						2年						
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
1	金																								元日
2	土																								
3	日																								
4	月																								
5	火																								
6	水				農業概論 環境農業課・第1					農業施策 鳥獣対策室・第2					農業概論 環境農業課・第1					農業施策 鳥獣対策室・第2					
7	木														家畜栄養学Ⅱ 野村・第3					※物理概論		家畜栄養学Ⅱ 野村・第3			
8	金				農業概論 環境農業課・第1										農業概論 環境農業課・第1										
9	土																								
10	日																								
11	月																						成人の日		
12	火				スマート農業 イノベ課・第1										スマート農業 イノベ課・第1					※物理概論					
13	水				※農産物加工	※フラワー				※農産物加工	※フラワー				家畜栄養学Ⅱ 野村・第3					※農産物加工		家畜栄養学Ⅱ 野村・第3			
14	木				小型車両系建設機械特別教育					※わな猟講習					小型車両系建設機械特別教育							※わな猟講習			
15	金				小型車両系建設機械特別教育										小型車両系建設機械特別教育										
16	土																								
17	日																								
18	月																			※物理概論					
19	火									プロジェクト発表 委員会										※乳製品加工		プロジェクト発表 委員会			
20	水														家畜栄養学Ⅱ 野村・第3					※乳製品加工		家畜栄養学Ⅱ 野村・第3			
21	木				スマート農業 イノベ課・第1										スマート農業 イノベ課・第1										
22	金				キャリア形成演習 第1										キャリア形成演習 第1										
23	土				※果樹剪定					※果樹剪定															
24	日																								
25	月				※職場体験研修期間										※職場体験研修期間										
26	火				※職場体験研修期間										※職場体験研修期間										
27	水				※職場体験研修期間										家畜栄養学Ⅱ 野村・第3					※物理概論		家畜栄養学Ⅱ 野村・第3			
28	木				※職場体験研修期間										家畜栄養学Ⅱ 野村・第3							家畜栄養学Ⅱ 野村・第3			
29	金				※果樹剪定	自治会行事				※果樹剪定	自治会行事				自治会行事							自治会行事			
30	土																								
31	日																								

2月	園芸学科												畜産学科												行事 予定	
	1年						2年						1年						2年							
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
1	月	※職場体験研修期間						自由登校						※職場体験研修期間						自由登校						
2	火	※職場体験研修期間						自由登校						※職場体験研修期間						自由登校						
3	水	※職場体験研修期間						自由登校						※職場体験研修期間						自由登校						
4	木	※職場体験研修期間						自由登校						※職場体験研修期間						自由登校						
5	金	※果樹剪定						自由登校						自由登校						自由登校						
6	土																									
7	日																									
8	月							自由登校												自由登校						
9	火	化学基礎 岡林・第1						自由登校						化学基礎 岡林・第1						自由登校						
10	水	英語 木下・第1						自由登校						英語 木下・第1						自由登校						
11	木																									建国記念の日
12	金	※果樹剪定						自由登校						自由登校						自由登校						
13	土																									
14	日																									
15	月	※フラワー						卒業式リハーサル						卒業式リハーサル						卒業式リハーサル						卒業式リハーサル
16	火							卒業式						卒業式						卒業式						卒業式
17	水							英語 木下・第1						英語 木下・第1						英語 木下・第1						
18	木							化学基礎 岡林・第1						化学基礎 岡林・第1						化学基礎 岡林・第1						
19	金	※果樹剪定																								
20	土																									
21	日																									
22	月																									
23	火																									天皇誕生日
24	水	※乳製品加工						英語 木下・第1						※乳製品加工						英語 木下・第1						
25	木							化学基礎 岡林・第1						化学基礎 岡林・第1						化学基礎 岡林・第1						
26	金																									
27	土																									
28	日																									

